

平成23年度 奈良市地域自立支援協議会 部会・WG 報告

部会・WG名	子どもの暮らしWG
テーマ 取り組みのポイント	障がい児（学齢期）の長期休暇・放課後支援について現状把握 夏季休暇の余暇支援（げんきくらぶの実施）
部会・調整会議 開催日	会議：4/15、5/27、6/17、7/15、10/7、11/18、12/16、2/3、3/23（9回） 療育部会との調整会議：1/10、2/2（2回）
参加団体 ◎主担当者 ○副担当者	◎宝山寺福祉事業団（仔鹿園相談支援センター） ○東大寺福祉事業団（東大寺福祉療育病院） あゆみの会（サポートシステムあゆみ） 奈良東養護学校小学部、奈良西養護学校小学部、奈良養護学校支援部、 青葉仁会（児童デイサービス事業所2のあひる）、 奈良市社会福祉協議会（総合福祉センター事業所・事務局） 奈良市（障がい福祉課、教育相談課）
検討内容	① 障がい児夏休み支援事業「げんきくらぶ」 計画・準備・実施・実施後のまとめ・次年度に向けて ②実態把握の方法についての検討 ・奈良市在住の手帳取得者数 ・奈良市内の児童デイサービス事業所の現状 ・地域の小学校特別支援学級の現状 ・学童保育の実態について（アンケート準備など） ・障がい児の余暇の過ごし方を含め、生活状態や福祉サービスの利用状況などについて、特別支援学校の協力により把握。 ・特別支援学校在籍児童のニーズ把握及び実態把握に向けての準備 ③WGの今後についての検討 ・療育部会との統合に向けての検討
研修等	「げんきくらぶ」の実施 奈良市内在住の地域校・特別支援学校等に通う小学生から高校生までのうち、家庭の事情等により長期休暇中の支援が必要な児童を対象に、子供だけで過ごせるのプログラムを提供し、夏休みの思い出づくり、家族の負担軽減を図る。 スタッフは、奈良市内の事業所、特別支援学校、社会福祉協議会、行政の協力により派遣していただいた。 参加者：日程により2グループに分ける。 （Aグループ15名・Bグループ14名）※地域校と支援校の比率はほぼ半々 開催日：Aグループ ①説明会 7月2日（土） 午前10時～11時半 ②1日目 7月22日（金） 午前10時～午後4時 14名参加 ③2日目 8月12日（金） 午前10時～午後4時 15名参加 Bグループ ①説明会 7月2日（土） 午後2時～3時半 ②1日目 7月29日（金） 午前10時～午後4時 13名参加 ③2日目 8月26日（金） 午前10時～午後4時 14名参加 計56名 ※スタッフ・ボランティア・実習生の数（4日間）延べ82名 ※運営費用は参加費（実費で一人3000円）を利用
成果・課題など	《成果》 ・げんきくらぶの実施 ①子供たちのサービス利用の現状の把握が一部できた。 ②恵まれたスタッフにより実施でき、スタッフ間の情報交換もできた。 ③地域の民生委員が参加され、経験をサロン活動に生かすことができた。

- 学齢児関係者の情報の共有が出来た
 - P T Aや当事者団体との連携ルートが一部確保が出来た。
- 《課題》
- 福祉サービスが不足していると予測される重症心身障害児・発達障害児のサービス状況の把握
 - 地域の小学校・中学校に在籍しているこども達の実態把握不足
 - 特別支援学級担任者会との連携・周知が不十分。
 - 増加している児童デイサービス間の情報共有方法
 - げんきくらぶ実施の際に、当初予定していた大学の学生との連携がうまくとれず、参加してもらうことが出来なかった。
 - 地域で暮らす当事者とその家族・特別支援教育コーディネーター
 - 特別支援教育担任などへの自立支援協議会・福祉サービスについて啓発が必要。
- ※今後はこども部会の学童児グループとして上記課題について継続して検討していく予定。